

3.4 中学校 (4)

III 地域の津波被害を考える 「避難後の行動を考えよう【1】」	
指導する学年	中学校 1～3年生
指導する時間 (時数)	特別活動・学級活動 (2時間)
教育目標	学校にいて、津波が襲ってきたとき、避難した後にどのような行動をとればよいのかを知る。
資料する資料	【動画-01】2011年東日本大震災 【写真-01】1944年昭和東南海地震津波による尾鷲市の被害 【資料-01】尾鷲市防災マップ
関連する 教科・行事等	【行事】避難訓練

【導入】-----

(1) インド洋及び日本国内、地域の津波の被害や様子の映像や写真を見て、感想を述べる。



【動画-01】 [4:38]
2011年東日本大震災(岩手県釜石市)
【1】「津波によって街が壊滅する様子」



【写真-01】 [17枚] 1944年
昭和東南海地震津波による尾鷲市の被害

- とにかく避難することが必要であることをおさえる
- 避難したあとの行動を想像するように示唆する

(2) 学習課題を把握する。

【展開】

- (1) 学校にいた場合、どのような行動をとればよいかを話し合う。
- (2) 学校周辺の手帳マップを見ながら、どこにどのように避難すればよいかを確認する。



【資料-01】 [12枚]
尾鷲市防災マップ

- (3) 避難するとき、具合の悪い生徒やケガした生徒、避難している小学生に対して、どのような行動をとればよいか考える。
- (4) 避難場所での行動（どのような集合隊形、点呼、安全確認、けが人への処置等）を確認する。

【まとめ】

【講義後のまとめ】

- (1) 学校にいて津波が襲ってきた場合、どのような行動をとればよいかまとめる。
- (2) 学習して気付いたことをプリント等に記入する。

【避難訓練後のまとめ】

- (1) 避難訓練で気付いたことや改善した方がよいと思うことなどをプリントに記入する。

【確認】

- (1) 避難した後どのような行動をとればよいかを知ることができたか？